

81 ヨシゴイ

(ペリカン目)

Ixobrychus sinensis

兵庫県ランク: A

繁殖個体群:A 越冬個体群:無 通過個体群:A

環境省ランク: NT

種の概要

アラビア半島東端からアジア南部、ミクロネシア西部、ロシア南東部、中国東南部、日本などで繁殖し、繁殖後は南方に渡り、越冬する。日本では北海道、本州、四国、九州で繁殖する。多くは繁殖後南方に渡るが、一部は沖縄で越冬する。ヨシ原、沼沢地、水田などに生息し、小魚類やカエル類、エビ類などの水辺の小動物を捕食する。主にヨシ、ガマなどが密生する茂みの中に営巣する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、甕島列島、草垣群島、上三島諸島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、★明石市、西宮市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、三木市、高砂市、南あわじ市、★淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、稲美町、播磨町



写真提供：北野光良

(性別：オス)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○			○	○	○	○	○



写真提供：森田俊司

(性別：メス)

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に5-11月に生息する。かつては県内各地の海岸や河口、池沼のヨシ原で広く繁殖していた。近年は生息地の多くが失われたため急減している。現在は、確実に繁殖している場所は極めて少なくなっている。通過個体を含め、個体数は少ない。

保護上の留意点

本種の生息には広大なヨシ原、湿地やため池を必要とするため、それらの環境の保全及び再生が必要。また、減反により休耕となった田圃も水を張ることによって本種の好む湿地環境を創出することが可能である。